

暮らしに自然の輝きを取り入れる

高岡漆器・螺鈿 らでん × おりはし はる き 折橋 治樹 [富山県高岡市]

加賀藩主前田利長が1609年に高岡城を築城し、武具のほかに箆笥や膳、器などの日常生活品を作らせたことが高岡漆器の始まりです。その後、中国から漆を重ねる技法が伝わり、彫り出した文様に色漆を重ねる彫刻塗や、石を粉末状にした砥の粉と漆を混ぜた錆漆で模様を描く錆絵、貝殻の内側の光沢部分を板状にして漆地や木地の表面に貼る螺鈿などの技術が発達しました。特に螺鈿は高岡漆器の特徴の一つともなっています。折橋さんは、一つとして同じものがない自然の輝き、美しさにこそ魅力があると言います。従来の身近な小箱やお盆だけでなく、イヤリングやリング、ネイル等の装飾品、またスマホケースといった新たな作品に挑戦しながら、螺鈿の素晴らしさを伝えるため、展示会や螺鈿教室にも積極的に取り組んでいます。



●帯留め

着物のワンポイントとして、お洒落な帯留めは個性を演出してくれる。



●箸

螺鈿で装飾された箸は、海外からの旅行客にたいへん喜ばれている。

【螺鈿工房おりはし】

〒933-0981
富山県高岡市二上578-34
TEL/FAX: 0766-23-8040



●ネイル

螺鈿の技法で装飾されたネイルには温かみがある。



●リング

手作りだからこそデザインは自由。



●小箱やイヤリング

身近な暮らしの中に、自然の輝きがそっと添えられている。



緻密な繊細さはもとより、作品を思い描くセンスが欠かせない。

折橋 治樹 (一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会認定・伝統工芸士)

1982年 武蔵川義則氏に師事
1986年 高岡市特産産業技術者養成スクール 基礎コース修了
1988年 高岡市伝統工芸技術者養成スクール 研究コース修了
1992年 「螺鈿工房 おりはし」を設立して独立
2001年 伝統工芸士(加飾部門)認定

【受賞歴】

高岡市伝統工芸産業優秀技術者表彰、第28回高岡漆器新作展示会 高岡漆器研究会会長賞
第38回富山県伝統的工芸品展 金賞、第50回高岡漆器展示会 富山県デザイン協会理事長賞

Instagramは
こちらから



ホームページは
こちらから

